

## 九大南口泊研究団地に企業誘致



報道等でご存知と思いますが、市が開発した九大南口泊研究団地に、化粧品製造・販売のピュールが工場建設を決定し、9月3日に市と立地協定を結びました。

今年2月27日には学術医療総合商社の正晃(株)と立地協定を締結しており、これで九大南口泊研究団地はすべて完売しました。

### ● 合併後の企業誘致の実績

平成22年に合併して以来、市が開発した工業団地に9件(3研究機関を含む)の企業誘致をしています。そこで働く従業員数は本年8月末時点で686人(内糸島市内居住者:325人)。これに上記の2社が操業を開始すれば、新たに50人以上の雇用が創設される予定です。

### ● 福岡市との圧倒的な税収の違い 25年度決算額の比較

注意

1. 人口は27年8月末現在です。
2. 福岡市の法人市民税には、糸島市には無い事業所税が含まれています。
3. 福岡市の固定資産税には、糸島市には無い都市計画税が含まれています。

	糸島市	福岡市	対比
面積	215.7km <sup>2</sup>	343.4km <sup>2</sup>	1.59倍
人口	100,066人	1,531,919人	15.3倍
税収合計	88.6億円	2761.2億円	31.2倍
個人市民税	38.0億円	847.5億円	22.3倍
法人市民税	4.1億円	475.9億円	116.1倍
固定資産税	38.9億円	1294.0億円	33.3倍

よく「糸島市は福岡市に比べて税金が高いのでは」というご質問を受けることがありますが、そうとはいえません。市県民税は県内すべて同じ計算ですし、固定資産税は評価額が低い糸島市の方が安く都市計画税もかかりません。ただし家事用の上下水道料金は糸島の方が4割ほど高く、プロパンガスは都市ガスに比べ高くなっています。

上記の表のとおり福岡市の人口は糸島市の15.3倍ですが、税収は31.2倍もあります。特に法人市民税は116.1倍と圧倒的な差があります。

若い人の市外転出の抑制や定住化。また税収を確保するためには企業誘致はとても大切な政策です。福岡都市圏の他のまちと比較して流通拠点としては不利な中で、市職員はよく頑張っていると私は思います。

# 伊都国 21

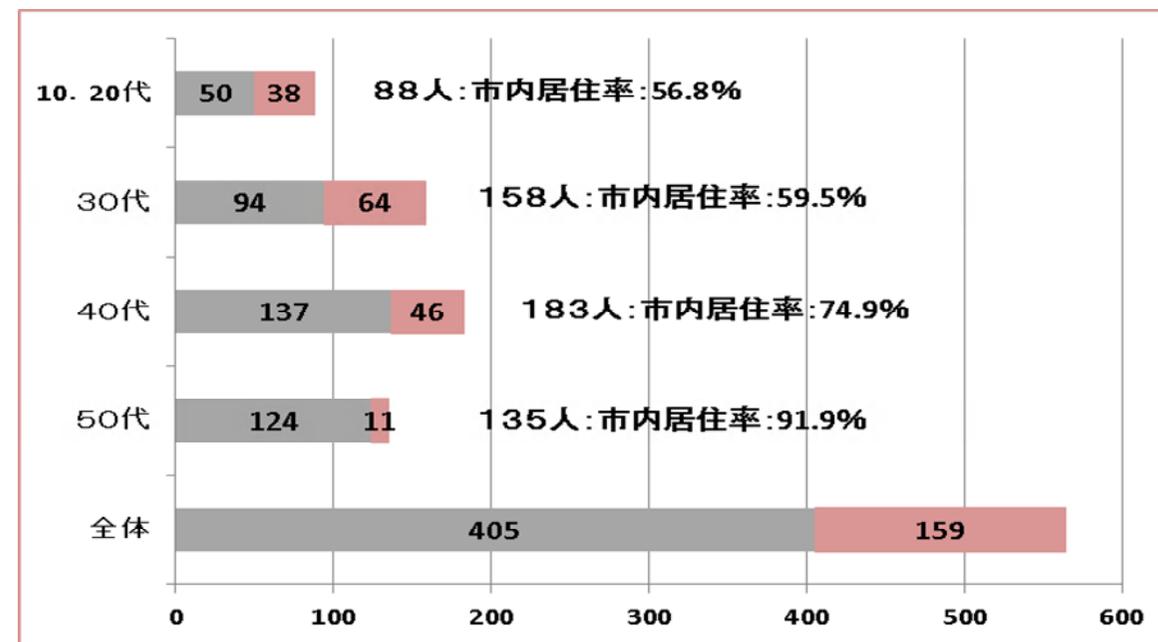
糸島市波多江駅北3-21-18  
電話 332-9118  
<http://mishima-hideyuki.jp>

三嶋ひでゆき



糸島市議会議員

## あなたはご想像できます？ 職員の市外居住



一般質問とは：議員が執行機関に対し疑問点を正し所信を求めるもので、政治姿勢や政治責任を明確にし、政策を変更・是正させ、新規施策の採用を要求するなどの目的があります。

質問：職員全体の市内居住率は71.8%。50歳代は91.9%ですが、これぐらいは結婚相手の家庭事情などでやむを得ないと思いますが、私が問題と思うのは30歳代の市内居住率が59.5%、10・20歳代が56.8%。市職員が市外に居住するデメリットをどう捉えておられるのか？

答弁：デメリットとしては、消防団など地域活動に携わる人材不足、災害時の初期対応への懸念、市民税の減、地域経済への影響などが考えられます。

質問：大野城市では、本年度の職員採用試験で「市内居住枠」を新設して採用とのこと。他市でも採用条件に「採用後は市内に居住すること」と明記している自治体があります。糸島市でも「特別の事情がない限り市内に居住すること」明記すべきと思いますが、如何でしょうか？

答弁：現在採用にあたり居住要件を設けていませんが、今後は大野城市の手法などを研究させていただきます。

質問：憲法で「居住選択の自由」が保障されていることは理解しますが、市民とのふれあいや地域課題の把握、地域貢献を考えた場合、**職員の市内居住は“基本の基”**と考えますが。

答弁：現職の職員については働きかけが難しいと考えます。新規採用については調査研究をいたします。

## “ふるさと納税”について

質問：糸島市における“ふるさと納税”の実績などはどうなっているのか？

答弁：8月末現在の実績が1,474万円（219件）。27年度目標額が3,400万円です。

質問：近隣自治体で“ふるさと納税”が多いところを調べますと、26年度実績で

・平戸市：14億6,200万円（36,066件）

・玄海町：10億6,600万円（49,778件）

・糸島市：500万円 \* 平戸市の約1/300。

“ふるさと納税”は市のアピールになり、ひいては定住促進にもつながります。この数字を見ますと**市の本気度が見えてこない**。寄付が増えればそれだけ市の収入になるのであれば、もっと力を入れるべきはないか。

答弁：10月よりインターネット決済が出来るようにする予定ですし、寄付記念品のメニューも増やして行く予定です。

質問：今年から住民税所得額の2割まで税金控除の対象となりました。市外居住の職員159人全員が、その2割分を糸島市に“ふるさと納税”すると約850万円になります。**「まず隼より始めよ」**という言葉がございますが、市外居住職員に糸島市に対して“ふるさと納税”をするように勧めるべきと考えますが。

答弁：職員に対しては市内外居住を問わず寄付を呼びかけています。

なんか気概が感じられない『のれんに腕押し』の答弁。次回、再度質問予定です。

## 職員採用については“えこ鼻員”をすべきでは！

27年度の糸島市採用試験の競争率は20倍以上の狭き門です。それこそ国立や一流大学を卒業した方々がこぞって受験をされます。

私は10月で60歳になりますが、今まで生きてきてひとつだけハッキリ言えることは**「勉強が出来るのと、仕事出来るのとは違う」**という事です。特に地方公務員の仕事を鑑みた場合、市民の皆さんと共に汗を流し、一緒に考えるコミュニケーション能力や“少しでも住みよいまちにしていこう！”という郷土愛が一番大切だと思います。

採用にあたっては筆記よりも面接を重視し、ボランティア精神溢れる熱血漢の糸島出身者を積極的に採用すべきと私は考えますが、皆さんはどう思われますか。



## 医院や薬局経営者に“ふるさと納税”のお願いを！

質問：糸島市内で開業されている医院・病院、調剤薬局の数はいくつあるのか？また、経営者の方が市外に居住されている数は把握されているか？

答弁：184軒です。どちらに居住されているかは把握していません。

質問：私は半数近い経営者が市外に居住されておられるのでは推測します。市は昨年度だけでも一般会計より国保会計に10億円以上繰り入れている。職員の方が医院等に足を運び、市の現状を説明し“ふるさと納税”をお願いすれば、多くの方にご理解・ご協力を頂けると思いますが、そうされるおつもりありませんか。

答弁：市としましては、医院などに関わらず様々な場面で“ふるさと納税”の働きかけをおこなっていきたい。

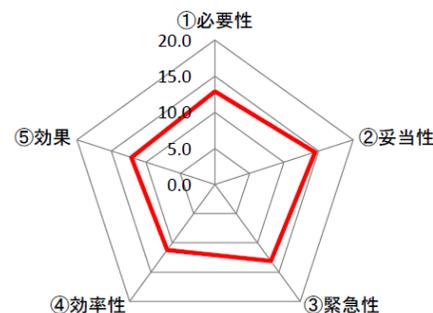
『糸島市で開業され利益を上げておられるのも関わらず、税金は福岡市に納めている』私は積極的にお願いにいても“バチは当たらない”と思うのですが…

\* 詳しくご覧になりたい方は 糸島市議会→映像配信システム→一般質問→三嶋栄幸で。

9月議会では通常の議案審議に加え、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し“予算が適正に執行されたか”“行政効果はどうだったか”などを検証し、次の事業や後年度の予算編成に反映させるために審査を行いました。

26年度決算の全体審査に加え“これは特に詳しく審査すべきでは”という事業を事前に選定(今年は8事業)。その費用対効果などを検証しましたので内2事業を紹介します。

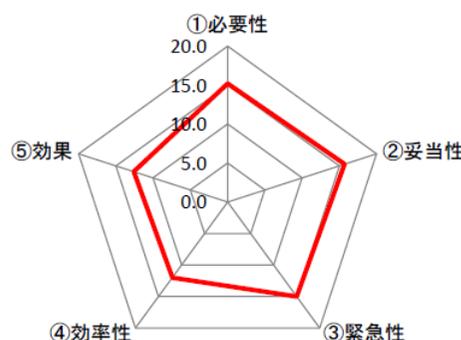
### ●いとしまブランド推進事業 提言



糸島が全国的に知られた事は素晴らしい効果である。今後は知名度を生かした事業を展開するとともに、糸島製品の販売や定住促進、宿泊客増などにつながる取組みを進めていただきたい。

市民アンケートの結果でも94%の方が「良いことだ」と評価しています。これだけ評価されるのは、市民の方のたゆまぬ努力はもちろんですが、市も“縁の下の力持ち”に徹して頑張っています。

### ●小中学校改修事業



#### 提言

教育が糸島のブランドのひとつとなるためには、学校の要望を聴き施設整備を実施して頂きたい。そのための中長期計画及び財源確保に努めて頂きたい。

施設の老朽化に予算が追いつかない状況なので、私個人としては別枠での予算措置を強く求めていく予定です。

教育環境を整備すると道徳心や規範意識も向上しますし、勉強に集中しやすくなります。